

第4回津島市子ども・子育て会議議事録

日時

令和2年2月4日（火）午後2時00分から午後3時まで

場所

津島市生涯学習センター 第6会議室

出席者

高尾委員、伊藤委員、猪飼委員、浅井委員、岡本委員、山田委員、角田委員、安藤委員、佐藤委員、田中委員

以上10名

欠席者

塚本委員、谷川委員、水谷委員、柴原委員、星野委員、南委員、横山委員 以上 7名

事務局

水谷健康福祉部長、辻村健康福祉部次長兼子育て支援課長、富田指導保育士
木谷子育て支援GL、林児童保育GL、藤倉主査、田山主事
健康推進課母子保健G河野保健師

1. 開会 事務局員

2. 議題

(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画について

(事務局説明)

(会長)

ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、委員の皆様からご意見やご質問などございますでしょうか。

(委員)

資料1ですが、意見3名ということに対してどう思われますか。

(事務局)

意見が3名だったことについては、少ないとみることもできますけれども、津島市の他の計画のパブリックコメントの状況からみると、こんなものかなというのが正直あります。

(会長)

他にご意見ありますか。

(委員)

このアンケートがどこで開催されているとか、どこで投函できるのかというのは、初めて私も知ったぐらいで、もう少しわかりやすく、どこかにこういう意見みれますよとか、投函できますよとか教えてもらえるような感じがあると、もっとたぶん周りのママさん達も意見は言いたいと思うので、もう少しわかりやすくして頂けたらいいなと思います。

(事務局)

このパブリックコメントはホームページとか、あと市政のひろばなどの広報等で周知を行いました。確かに存在自体が意識されることはなかったのかなと思います。

ただ、今回市政のひろばについては、1月号で載せていただきましたが、新年のあいさつのちょうど真後ろに載ってまして、市政のひろばの中ではすごい目立つところに載せていただきました。

ただ、市政のひろばにパブリックコメント実施しますと書いてあって、ピンとくる方ってなかなかないのかなと思いました。その辺り、もうちょっと表現を、パブリックコメントという言葉は使わなきゃいけないのかもしれないのですが、それ以外のところを表面に出した方がよかったのかな、と思います。

(会長)

他にご意見やご質問ございますでしょうか。

(委員)

資料1の9番ですが、子どもが遊べる施設の話の中で、天王川公園のプールがもうすぐ完成かと思うのですが、周りではすごい有難いなという意見が多いのですが、同時に砂場が無くなってしまって、子どもたちは何もない滑り台の下だったり、どっかをほじって遊んでいるんですけど、それは安全とはいえるのでしょうか。何かもう少し対策はあるのでしょうか。

(事務局)

今おっしゃられたのは、おそらく噴水、上からのやつと下からも出るようなものを整備していると聞いています。砂場がなくなって、滑り台の下だとか、ちょっとしたところで遊びをしているが、それが安全かどうかと言われると、砂場という機能ではないわけですので、なかなかそう言い切れないところはあろうかと思います。

遊び場の確保という中でも、どういった遊びをしてもらう場所だとか、どういった形で遊んで頂くのがいいのかというのを考えながら、必要な整備というのはしていきたいと思います。今のところは、砂場からそういったものに変えた方が良いという判断かと思っておりますので、ご理解賜りたいと思います。

(会長)

他にご意見やご質問ございますでしょうか。素朴なご意見、ご質問でも結構ですけども、よろしく願いいたします。今、委員から砂場というお話が出たのですが、砂場等については保育園さん等でも、動物の排泄物等の心配があって、保育園、幼稚園さんでも管理をかなり気を付けておられるかと思うのですが、そのあたりの保育関係の先生、どうでしょうか。

(委員)

今会長が仰ったように、砂場のメンテナンスというのは、たぶん津島のどの園もされていると思うのですが、結構費用もかかり、毎日シートをかけたり、3カ月に1回業者で熱処理をしたり、殺菌消毒をしたりやっています。

天王川公園の砂場がどこまでされていたのかわからないのですが、そういったことも含めて、切り替えに踏み切られたのかなと思ってましたが、砂場での子どもたちの活動というのは、すごく目を見張るものがあって、確かにそのメンテナンスさえされていれ

ば、すごく子どもたちが育つ場所であるので、今委員さんが言われたように、噴水が出来て、また違う場面で何かそういうのが設置していただけたらいいと私も思いました。

高い遊具というのは小学生の高学年の子には喜ばれるかもしれませんが、小さい子にとっては、それよりも砂場のほうが育ちは大きいかなとは思っています。

防犯の部分で、確かに暗くなって共働きの方のお子さんがいつまでもいると心配な部分とかもあるかと思うのですが、公園とか、異学年の子供たちが集まる場所というのは、子どもたちにとってすごく育つ、いろいろなところにやる気に火が付いたりする場所だと思います。夜遅くなってどうしても遊んじゃっている場合は、ライトとか、風紀委員のようなちょっとボランティアの方が、ちらっとパトロールしていただけるだけでも随分変わってくると思います。

いろいろ思うことはありますが、また津島の方で、何か公園にいたしても、そういった見直し等ありましたらよろしく願いいたします。

(会長)

ありがとうございます。

(委員)

もう一ついいですか。3名の方の貴重な意見は有難いなと思って、20件の意見聞かせてもらったのですが、私が津島市民じゃなかったもので、こういうのを募ってるというのを見落としていたのですが、事前に幼稚園、保育園にお声があれば、園だよりの下の方にお母さんたちの意見をこうやって市で集めてます、募ってますよというのが一言載せると、園の行事は絶対見なきゃいけないので、保護者の、小さいお子さんをお持ちの保護者の方に目がふれる場面があるかもしれないので、言ってくだされればたぶん幼稚園さんも保育園さんもこども園さんも一言文書載せることは可能です。そうしたら、もっと大勢の方がお声を出していただけるかなと思います。

(会長)

ありがとうございます。

(事務局)

ありがとうございます。確かに今のパブコメをやるにあたって、ホームページや広報を使えば周知しているという部分はあったかもしれないですけど、当然今子育てしている所だとか、小さい子供さんがいるところが関心が高いところになってくるはずですので、今意見いただいたことも参考にしながら、これからちょっと考えてやっていきたいと思えます。

あと先ほど話のあった公園等の件につきましても、なかなか公園を整備していくというのは大変なことではあるのですが、市役所の中での会議の場とかでも、やはり前回もこういった会議をやった時にそういった声もあったので、いくつもあったものだから、そういったこともしっかりやっていってもらえたらとかの話もしておりますし、ここでいただいた意見というのはしっかり踏まえてやっていきたいと考えております。

さっきの砂場の関係、安全か危ないかって、滑り台の下だからどうかって観点だけから話をしたのですが、確かにさっきおっしゃられたみたいに、管理ってすごく大変なのかなと。市のところの施設の園の砂場でも、しっかりと管理しながらやっています

ので、そういったこともしっかりやっていけるような環境づくり、そういうのも踏まえていろいろ考えていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(会長)

ありがとうございます。私も保育園さん、幼稚園さんなどよくお邪魔するんですけども、げた箱、靴箱のそばですと、保護者の方々が送り迎えでよく通られるので、そのようなところにポスターを張っている園さんがよくあります。そのようなところに、お父さん、お母さんのご意見を募集しますというのがあったら、目につくのではないかなというふうに感じました。ご参考にさせていただければ幸いです。その他にもご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

(委員)

ファミサポでコーディネイトのほうをさせていただいているのですが、経済支援のところに関して、子育て応援券が今まであったと思うのですが、今年度の末で利用が切れる方がほとんどだと思うのですが、まだ、経済支援ではなくて、ファミサポとか使える方の券が残っている方がいらっしゃるようで、その使いたいから登録しようかなという方の問い合わせがありました。結局その方の利用はなかったのですが、そういった方にとっては経済支援がなくてもなんとかなるという方も、いらっしゃるのだなということもありますし、逆に経済支援が必要な方というのはどういった方だったのかなというのをちょっと考える機会になりました。

あともう一つ、休日保育の実施についてなのですが、どこの園に通っていても休日保育が利用できるというのが、津島市はすごく素晴らしいなあと思っているのですが、それが使う月の前の月の15日までに申請しなきゃいけないというところが若干使いにくいのかなというところが、ファミサポのほうで保護者の方の意見を聞いているとあるので、どうしてもファミサポの方で休日1日利用されると、金額が張ってしまうので、そういったところの休日保育、働くお父さん、お母さんの家庭の支援が、もう少し融通が利くようになるといいなと感じました。以上です。

(会長)

今のご意見に対して。事務局の方お願いいたします。

(事務局)

休日保育の方の津島市の現状といたしましては、おっしゃられた通り、前月の15日までのお申し込み、登録は事前に登録方式ということになっております。なぜこのような方式をとらなくてはいけないかという所ですけども、やっている施設というのが東愛宕保育園という定員が40名のところでやっております。別棟のところ、その日の為だけに日曜日と祝日を開けるというようなシステムをとっておりますので、どうしても先生の配置というのが、決められた方が必ず入るというようなシステムしかとれないです。

先生のところが規模が大きいところだと、ローテで土日も全部回してというようなことが可能かもしれないですけども、そこはちょっと先生も少人数ということもありますので、日祝の申込者によって先生を配置するというようなやり方をしてしまうために、どうしても人数の確保という、児童の人数の把握というのが大事になってまいります。その関係で前月の15日前までには、どういった仕事でこういう理由で預けたいというこ

とがわかったうえで、先生を配置するというような事情がある関係で、早めに人数把握をしないといけないというところがあります。

確かに使い勝手が悪いといったことを十分に理解できる場所ではありますが、休日・祝日はどうしても先生が休まなくてはならないという実情ですとか、そういったところは打破できないところが大きいものですから、実際保育所でそういったことをやるというのが難しいのかなというところがございます。

反対に休日保育の部分でもっと充実を図るということになりますと、保育所でないところで企業を募るですとか、そういったところで手を挙げてくれるところがあるのかとか、そういった充実のところを検討をしていく必要があるのかなと思っております。

(事務局)

私の方からは経済的支援の方につきましては述べさせていただきたいと思えます。

経済的支援の方なんですが、この資料2の54ページ、経済的視点ということで10個の項目を謳っております。委員ご指摘の通り、今まで子育て応援券やっていたのですが、そういったものを使わずになんとかなくなってしまふ、なんとなかなるご家庭もあると。子育てにおける経済的支援とはというお話なのかなと思えますが、一つはさっき言ったセーフティネット、お金がない方に対する支援もあるでしょうし、一つは子育ての奨励とでもいうのでしょうか、パブリックコメントでも意見いただいた通り、子ども一人あたり100万円だしたらどうだというご意見もあります。

子ども医療費の例をみてもですね、津島市はちょっと出遅れていた面があったものですから、新婚さんが家を建てる時に津島市を避けてしまふとか、ついてしまった評判というのはなかなか拭えないのかなと思っております。

そういった点も含めまして、今10個の項目をですね、計画に上げていますが、ここは臨機応変に追加していく、もしくは削除していくというようなことを考えております。正直、10個の項目以外にも何か、限られた財源をどのように使っていくかも含めまして、今後計画の方を、今回一応これが完成形という形になりますけれども、毎年、PDCAサイクルにのっかって見直しを図っていくものでもあると考えておりますので、委員の皆様のご意見、アイデアがあれば是非頂戴したいと考えております。以上でございます。

(会長)

ありがとうございます。その他、ご意見ご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。ご意見、ご質問をいただきまして、ありがとうございます。それではその他になりますが、事務局の方から何かございますでしょうか。

(事務局)

本日貴重なご意見を頂きましてありがとうございます。今回の会議録は後日郵送させていただきます。また、事業計画の方につきましても、完成いたしましたら、お送りさせていただきますので、よろしく願いいたします。

先ほども話がありましたが、計画の方は作成してそれでおしまいではなくて、常に検証していきながら、毎年見直しの方は当然かけていくべきものだと思っておりますので、引き続きよろしくお願い致します。

次回につきましては、今年の7月ごろを予定しております。その際には今回と同様で

すけど、開催通知でご案内をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

(会長)

ありがとうございました。これを持ちまして第4回津島市・子ども子育て会議を終わらせていただきます。ありがとうございました。